



# 平成 18年 3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17年 8月 4日

上場会社名 ダイセル化学工業株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 4202

本社所在都道府県

( URL <http://www.daicel.co.jp> )

大阪府

代 表 者 代表取締役社長 小川 大介

問合せ先責任者 IR広報グループリーダー 畑 理史

TEL (03) 6711 - 8121

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 :無  
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 :有  
 当第1四半期より、固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日)及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日))を適用しております。  
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 :無  
 連結(新規) -社 (除外) -社 持分法(新規) -社 (除外) -社

## 2. 平成 18年 3月期第1四半期の財務・業績の概況(平成 17年 4月 1日 ~ 平成 17年 6月 30日)

### (1)経営成績(連結)の進捗状況

(注) 百万円単位表示の金額については百万円未満切捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 3月期第1四半期	76,676	7.6	7,262	24.2	7,160	37.2	3,645	58.8
17年 3月期第1四半期	71,245	6.7	5,845	41.0	5,220	59.4	2,296	83.7
(参考) 17年 3月期	306,335		28,552		25,151		10,844	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年 3月期第1四半期	10.08	—
17年 3月期第1四半期	6.35	—
(参考) 17年 3月期	29.82	—

(注)売上高・営業利益・経常利益・四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

### (2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年 3月期第1四半期	432,253	173,398	40.1	479.68
17年 3月期第1四半期	388,864	161,088	41.4	445.45
(参考) 17年 3月期	413,492	171,224	41.4	473.49

### 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年 3月期第1四半期	4,155	△ 26,470	20,047	14,745
17年 3月期第1四半期	10,001	△ 5,165	2,204	19,292
(参考) 17年 3月期	41,683	△ 10,929	△ 26,431	16,639

## 3. 平成18年 3月期の連結業績予想(平成 17年 4月 1日 ~ 平成 18年 3月 31日)

前回公表の中間期および通期の業績予想の見直しは行っておりません。

# 経営成績及び財政状態

## I. 経営成績

当第1四半期のが国経済は、緩やかな回復基調との見方はありますものの、力強さは感じられず、一方で、引き続き高水準で推移している原燃料価格、IT関連分野における在庫調整の長期化、中国経済の成長鈍化等を背景とした輸出の停滞など不安材料もあり、景気の踊り場を脱却できない状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第1四半期の連結業績は、売上高76億76百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益72億62百万円（前年同期比24.2%増）、経常利益71億60百万円（前年同期比37.2%増）、四半期純利益36億45百万円（前年同期比58.8%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

### [セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、LCD用フィルム向け需要の増加、たばこフィルター用トウ向けおよび繊維向け需要の堅調な推移などにより、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、国内向けの販売数量は減少いたしましたが、海外向けの販売数量が増加したことにより、売上高は微増となりました。

WSP（水溶性高分子）は、水産および土木用途の需要不振の影響により、販売数量は減少いたしました。また、医薬・化粧品用途の新規開発品の拡販や、海外における化粧品用途の需要増などが寄与して、売上高はほぼ横這いとなりました。

当部門の売上高は、131億95百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は、22億78百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

### [有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、需給の逼迫を背景に販売価格の是正を行ったことにより、売上高は増加いたしました。

酢酸誘導体および各種溶剤類などの汎用品は、引き続き堅調な需要に支えられ、原料高を背景に販売価格の是正を実施したことにより、売上高は増加いたしました。

ファインケミカル製品は、原燃料価格上昇分の販売価格への転嫁は遅れておりますが、輸出や電子材料向け高機能品の需要が好調であったことなどにより、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

医薬中間体は、一部製品の需要減少や出荷時期ずれなどにより、販売数量、売上高ともに減少いたしました。

光学異性体分離カラムは、海外向けを中心にカラムおよび充填剤の販売が好調で、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、193億12百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は、19億88百万円（前年同期比129.8%増）となりました。

#### [合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂などのエンジニアリングプラスチックは、デジタル家電分野における生産調整や中国の景気拡大の鈍化の影響により販売数量は減少いたしました。原料高に伴う販売価格の是正が寄与して売上高は増加いたしました。

AS・ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、高機能エンブラアロイ樹脂の販売が堅調であったことや、中国華南地区における拡販が寄与して、売上高は増加いたしました。

シート事業は、新規顧客開拓の進捗および販売価格の是正により、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

成形容器、緩衝材などの製品事業は、環境対応新素材や新製品の開発を含めた着実な市場開拓を進めるとともに、高付加価値製品の販売および販売価格是正に注力したことにより、売上高は増加いたしました。

包装フィルムは、主力製品であるバリアフィルムの拡販を着実に進めたことにより、売上高は増加いたしました。

その他の樹脂加工事業は、ユーザーの海外移転による国内空洞化など厳しい状況にあります。建築資材分野における販路開拓と販売価格の是正が寄与して、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、335億65百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は、32億29百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

#### [火工品事業部門]

自動車のエアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）は、国内自動車生産台数が堅調に推移する中、特に側突系の小型・軽量ハイブリッドインフレーターの採用が拡大していること、運転席・助手席用の新型デュアル（2段出力）インフレーターの販売が順調に推移していることに加え、米国、欧州など海外市場における販売も好調で、販売数量、売上高ともに大幅に増加いたしました。

特機事業は、航空機搭乗員緊急脱出装置、ミサイル構成部品、発射薬とも、製品納入時期の後ずれにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、90億71百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は、14億33百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

#### [その他事業部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、医療用分野は横這いとなりましたが、一般産業分野において販売数量が減少したことにより、売上高は減少いたしました。

その他新規機能性材料については、当第1四半期より半導体レジスト材料を売上計上したことなどにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、15億32百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は、78百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

## Ⅱ．財政状態

### 1．資産、負債及び資本の状況

総資産は、新規設備投資による建設仮勘定の増加などにより、前期末に比し 187 億 61 百万円増加し、4,322 億 53 百万円となりました。

負債は、短期借入金や長期借入金の増加などにより、前期末に比し 157 億 87 百万円増加し、2,294 億 41 百万円となりました。有利子負債は 228 億 45 百万円増加し 1,189 億 1 百万円となり、総資産に占める有利子負債の割合は 27.5%となりました。

また、株主資本は、前期末に比し 21 億 74 百万円増加し、1,733 億 98 百万円となり、株主資本比率は 40.1%となりました。

### 2．当第1四半期（平成17年4月1日～平成17年6月30日）のキャッシュ・フローの状況

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、41 億 55 百万円（前年同期比 58.5%減）となりました。前年同期との差の要因は、主として運転資金の増加及び法人税等の支払額の増加によるものであります。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、264 億 70 百万円（前年同期比 412.5%増）となりました。前年同期との差の要因は、主として当社大阪製造所堺工場のたばこフィルター用トウ事業の当社大竹工場への移転計画に伴う新規設備取得等、有形固定資産の取得に伴う支出の増加によるものであります。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は、200 億 47 百万円（前年同期比 809.6%増）となりました。前年同期との差の要因は、主として長期借入金の増加によるものであります。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比し 18 億 94 百万円減少し、147 億 45 百万円となりました。

## 第1四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前年第1四半期 (平成16年6月30日)	当第1四半期 (平成17年6月30日)	前連結会計年度 (平成17年3月31日)	増 減(△) (対平成17年3月31日)
		金額	金額	金額	金額
(資 産 の 部)					
I 流 動 資 産		( 148,620 )	( 157,519 )	( 160,540 )	( △ 3,021 )
現金及び預金		17,329	14,572	15,434	△ 862
受取手形及び売掛金		68,848	73,871	77,718	△ 3,847
有 価 証 券		2,040	195	1,231	△ 1,036
たな卸資産		46,940	54,984	51,714	3,270
収用に係る未収入金		-	3,150	3,150	-
そ の 他		13,643	10,930	11,485	△ 555
貸倒引当金		△ 181	△ 184	△ 194	10
II 固 定 資 産		( 240,244 )	( 274,733 )	( 252,952 )	( 21,781 )
1. 有形固定資産		( 165,441 )	( 186,622 )	( 165,018 )	( 21,604 )
建物及び構築物		52,397	49,659	50,083	△ 424
機械装置及び運搬具		72,520	67,667	68,220	△ 553
土 地		28,190	27,214	27,142	72
建設仮勘定		8,623	38,113	15,632	22,481
そ の 他		3,708	3,967	3,939	28
2. 無形固定資産		8,219	7,680	7,480	200
3. 投資その他の資産		( 66,584 )	( 80,429 )	( 80,453 )	( △ 24 )
投資有価証券		55,523	62,080	62,370	△ 290
収用に係る未収入金		-	8,555	8,555	-
そ の 他		11,588	10,412	10,072	340
貸倒引当金		△ 527	△ 619	△ 545	△ 74
資 産 合 計		388,864	432,253	413,492	18,761

(注) 増減は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

(単位：百万円)

科 目	期 別	前年第1四半期 (平成16年6月30日)	当第1四半期 (平成17年6月30日)	前連結会計年度 (平成17年3月31日)	増 減(△) (対平成17年3月31日)
		金額	金額	金額	金額
	(負債の部)				
I 流動負債		( 111,669 )	( 110,308 )	( 102,778 )	( 7,530 )
支払手形及び買掛金		44,081	47,264	50,195	△ 2,931
1年内に償還する社債		10,000	-	-	-
短期借入金		26,377	29,472	17,441	12,031
1年内に返済する長期借入金		9,495	11,451	10,008	1,443
未払法人税等		2,456	2,182	5,480	△ 3,298
その他		19,259	19,936	19,653	283
II 固定負債		( 88,378 )	( 119,132 )	( 110,875 )	( 8,257 )
社 債		40,000	40,000	40,000	-
長期借入金		36,242	37,977	28,607	9,370
退職給付引当金		5,570	6,152	6,579	△ 427
圧縮記帳特別勘定		-	26,387	26,387	-
その他		6,565	8,615	9,301	△ 686
負債合計		200,048	229,441	213,654	15,787
	(少数株主持分)				
少数株主持分		27,726	29,413	28,613	800
	(資本の部)				
I 資 本 金		36,275	36,275	36,275	-
II 資 本 剰 余 金		31,377	31,379	31,378	1
III 利 益 剰 余 金		80,205	89,451	87,668	1,783
IV その他有価証券評価差額金		17,292	19,969	20,155	△ 186
V 為替換算調整勘定		△ 3,076	△ 2,612	△ 3,195	583
VI 自 己 株 式		△ 985	△ 1,065	△ 1,058	△ 7
資本合計		161,088	173,398	171,224	2,174
負債、少数株主持分及び資本合計		388,864	432,253	413,492	18,761

(注) 増減は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

# 第1四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前年第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)		当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)		前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)		増 減(△) (対前年第1四半期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
I 売 上 高	71,245	100.0	76,676	100.0	306,335	100.0	5,431	7.6
II 売 上 原 価	52,590	73.8	56,713	74.0	225,324	73.6	4,123	7.8
売 上 総 利 益	18,655	26.2	19,962	26.0	81,010	26.4	1,307	7.0
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	12,809	18.0	12,699	16.5	52,457	17.1	△ 110	△ 0.9
営 業 利 益	5,845	8.2	7,262	9.5	28,552	9.3	1,417	24.2
IV 営 業 外 収 益	838	1.2	730	0.9	2,385	0.8	△ 108	△12.9
受 取 利 息	40		53		199		13	
受 取 配 当 金	252		283		439		31	
連 結 調 整 勘 定 償 却 額	278		33		421		△ 245	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	24		38		618		14	
為 替 差 益	-		67		-		67	
そ の 他	242		254		706		12	
V 営 業 外 費 用	1,463	2.1	832	1.1	5,786	1.9	△ 631	△43.1
支 払 利 息	542		406		2,096		△ 136	
為 替 差 損	6		-		126		△ 6	
事 務 所 移 転 費 用	379		-		694		△ 379	
そ の 他	534		426		2,868		△ 108	
経 常 利 益	5,220	7.3	7,160	9.3	25,151	8.2	1,940	37.2
VI 特 別 利 益	36	0.1	172	0.2	26,722	8.7	136	377.8
固 定 資 産 処 分 益	-		172		26,682		172	
補 助 金 収 入	36		-		40		△ 36	
VII 特 別 損 失	307	0.4	113	0.1	29,494	9.6	△ 194	△63.2
固 定 資 産 除 却 損	271		93		2,006		△ 178	
固 定 資 産 評 価 損	-		-		1,059		-	
減 損 損 失	-		19		-		19	
固 定 資 産 圧 縮 損	36		-		40		△ 36	
圧 縮 記 帳 特 別 勘 定 繰 入 損	-		-		26,387		-	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	4,949	7.0	7,218	9.4	22,379	7.3	2,269	45.8
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,818	2.6	1,733	2.3	6,880	2.2	△ 85	△ 4.7
法 人 税 等 調 整 額	△ 30	△ 0.0	1,040	1.3	1,093	0.4	1,070	
少 数 株 主 利 益	864	1.2	799	1.0	3,560	1.2	△ 65	△ 7.5
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	2,296	3.2	3,645	4.8	10,844	3.5	1,349	58.8

## 第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前年第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)	当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)	前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
		金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期(当期)純利益		4,949	7,218	22,379
減価償却費		5,404	4,958	22,490
受取利息及び受取配当金	△	293	△ 337	△ 638
支払利息		542	406	2,096
持分法による投資利益	△	24	△ 38	△ 618
固定資産除売却損益		271	△ 78	△ 24,675
固定資産評価損		-	-	1,059
圧縮記帳特別勘定繰入損		-	-	26,387
投資有価証券売却損益		-	-	△ 33
売上債権の増減額(増加：△)		2,204	4,201	△ 6,636
たな卸資産の増減額(増加：△)	△	1,846	△ 3,017	△ 6,687
仕入債務の増減額(減少：△)		2,518	△ 3,218	8,711
役員賞与の支払額	△	24	△ 68	△ 24
その他の	△	2,621	△ 1,096	△ 16
小 計		11,079	8,930	43,794
利息及び配当金の受取額		286	360	1,503
利息の支払額	△	337	△ 310	△ 2,129
訴訟関連損失の支出	△	61	-	△ 91
法人税等の支払額	△	966	△ 4,824	△ 3,233
法人税等の還付額		-	-	1,839
営業活動によるキャッシュ・フロー		10,001	4,155	41,683
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の取得による支出	△	3,493	△ 25,073	△ 24,520
有形固定資産の売却による収入		-	173	352
無形固定資産の取得による支出	△	152	△ 524	△ 856
投資有価証券の取得による支出	△	452	△ 85	△ 3,290
投資有価証券の売却等による収入		126	100	600
貸付けによる支出	△	386	△ 800	△ 973
貸付金の回収による収入		122	53	520
収用に係る補償金入金による収入		-	-	16,987
収用仮受金の収入		-	-	1,862
その他の	△	928	△ 315	△ 1,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	5,165	△ 26,470	△ 10,929
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増減額(減少：△)		3,278	11,840	△ 5,658
長期借入による収入		1,603	12,241	7,394
長期借入金の返済による支出	△	1,523	△ 1,809	△ 14,187
社債の償還による支出		-	-	△ 10,000
少数株主からの払込による収入		269	-	592
自己株式の取得による支出	△	13	△ 7	△ 83
自己株式の売却による収入		0	0	4
配当金の支払額	△	1,084	△ 1,807	△ 2,169
少数株主への配当金の支払額	△	324	△ 410	△ 2,324
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,204	20,047	△ 26,431
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△	154	373	△ 88
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)</b>		6,886	△ 1,894	4,233
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>		12,237	16,639	12,237
<b>VII 新規連結子会社増加による現金及び現金同等物の増加額</b>		168	-	168
<b>VIII 現金及び現金同等物の期末残高</b>		19,292	14,745	16,639



## セグメント情報

### (1) 事業の種類別セグメント情報

前年第1四半期（自平成16年4月1日 至平成16年6月30日）

（単位：百万円）

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,336	17,822	31,146	8,420	1,519	71,245	—	71,245
(2) セグメント間 の内部売上高	390	2,588	9	—	2,382	5,371	( 5,371)	—
計	12,726	20,411	31,155	8,420	3,902	76,616	( 5,371)	71,245
営 業 費 用	10,410	19,545	28,174	6,832	3,907	68,870	( 3,470)	65,400
営 業 利 益	2,315	865	2,982	1,587	△ 5	7,745	( 1,900)	5,845

当第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,195	19,312	33,565	9,071	1,532	76,676	—	76,676
(2) セグメント間 の内部売上高	560	2,574	10	—	2,361	5,507	( 5,507)	—
計	13,755	21,887	33,575	9,071	3,893	82,183	( 5,507)	76,676
営 業 費 用	11,477	19,898	30,346	7,637	3,815	73,176	( 3,762)	69,413
営 業 利 益	2,278	1,988	3,229	1,433	78	9,007	( 1,744)	7,262

前連結会計年度（自平成16年4月1日 至平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	50,132	79,086	133,390	36,605	7,121	306,335	—	306,335
(2) セグメント間 の内部売上高	1,942	11,082	49	—	10,081	23,155	( 23,155)	—
計	52,074	90,169	133,439	36,605	17,202	329,490	( 23,155)	306,335
営 業 費 用	42,409	83,310	120,429	30,062	16,722	292,934	( 15,152)	277,782
営 業 利 益	9,664	6,858	13,009	6,542	480	36,555	( 8,002)	28,552

（注） 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要な製品の名称等

セルロース事業	酢酸セルロース、たばこフィルター用トウ、CMC他
有機合成事業	酢酸及び酢酸誘導体、カプロラクトン誘導体、エポキシ化合物、各種医薬中間体、光学異性体分離カラム他
合成樹脂事業	ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、AS・ABS樹脂、エンプラアロイ樹脂、各種合成樹脂成形加工品他
火工品事業	自動車エアバッグ用インフレーター、航空機搭乗員緊急脱出装置、発射薬他
その他事業	水処理用分離膜モジュール、運輸倉庫業他

3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は以下のとおりであります。(単位：百万円)

	前年第1四半期	当第1四半期	前連結会計年度	主な内容
消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額	1,900	1,744	8,002	提出会社の基礎研究及び管理部門等に係る費用

**(2)所在地別セグメント情報**

前年第1四半期 (自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	57,114	11,114	3,017	71,245	—	71,245
(2) セグメント間の内部売上高	8,346	1,382	85	9,814	( 9,814)	—
計	65,460	12,497	3,103	81,060	( 9,814)	71,245
営業費用	59,124	11,376	2,813	73,314	( 7,914)	65,400
営業利益	6,335	1,120	289	7,745	( 1,900)	5,845

当第1四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	60,506	12,359	3,811	76,676	—	76,676
(2) セグメント間の内部売上高	9,285	1,914	108	11,308	( 11,308)	—
計	69,791	14,273	3,920	87,985	( 11,308)	76,676
営業費用	62,517	12,815	3,644	78,977	( 9,564)	69,413
営業利益	7,273	1,457	275	9,007	( 1,744)	7,262

前連結会計年度（自平成16年4月1日 至平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	日本	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	244,896	48,753	12,684	306,335	—	306,335
(2) セグメント間の内部売上高	39,185	6,081	314	45,581	(45,581)	—
計	284,082	54,835	12,998	351,916	(45,581)	306,335
営業費用	254,158	49,446	11,754	315,360	(37,578)	277,782
営業利益	29,923	5,388	1,243	36,555	(8,002)	28,552

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア 香港、シンガポール、中国、台湾、タイ、マレーシア  
 (2) その他 北米、ヨーロッパ  
 3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は、「事業の種類別セグメント情報」の「(注) 3」と同一であります。

### (3)海外売上高

前年第1四半期（自平成16年4月1日 至平成16年6月30日）

（単位：百万円）

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	16,110	5,471	21,582
II. 連結売上高			71,245
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.6	7.7	30.3

当第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	17,458	6,670	24,129
II. 連結売上高			76,676
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.8	8.7	31.5

前連結会計年度（自平成16年4月1日 至平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	70,249	24,036	94,286
II. 連結売上高			306,335
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.9	7.9	30.8

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア 中国、香港、タイ、台湾、韓国  
 (2) その他 北米、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニア、中近東、中南米  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。